

6. がんプロフェッショナル養成プラン

1) はじめに

文部科学省は、令和5年度より第4期がん対策推進基本計画の人材育成の施策として「次世代のがんプロフェッショナル養成プラン」事業に取り組んでいる。本学は、岡山大学など中国・四国の11拠点の大学で構成された中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアムとして採択された「地域をつなぐ未来世代のがん専門医療人養成」事業に参画している。看護学研究科は、がん高度実践看護師WGの幹事校として、がんプロ第1期からがん看護専門看護師の養成およびがん看護の質向上に向けた取り組みを行っている。第4期は、高知県立大学大学院・徳島大学大学院・山口大学大学院・鳥取大学大学院・愛媛大学大学院・香川大学大学院の6つの大学院で活動を展開している。

令和5年度は3名の修了生を輩出し、1名の修了生ががん看護専門看護師の認定を受けた。

2) がん高度実践看護師WGの活動

がん高度実践看護師WGでは、「1. がん高度実践看護師の養成」「2. がん看護の質向上への貢献」を2つの活動テーマに挙げ、①各大学によるがん高度実践看護師の育成、②がん高度実践看護師インテンシブコースの開講、③がん高度実践看護師WG講演会の開催、④大学院がん看護学合同セミナーの開催、⑤11大学院チーム医療合同演習への参加（教員はFD）、⑥HPなどによる広報活動、⑦各大学におけるセミナー・特別講義の開催、⑧修了生に対するがん看護CNS認定試験までのサポートの8つの活動に取り組んでいる。

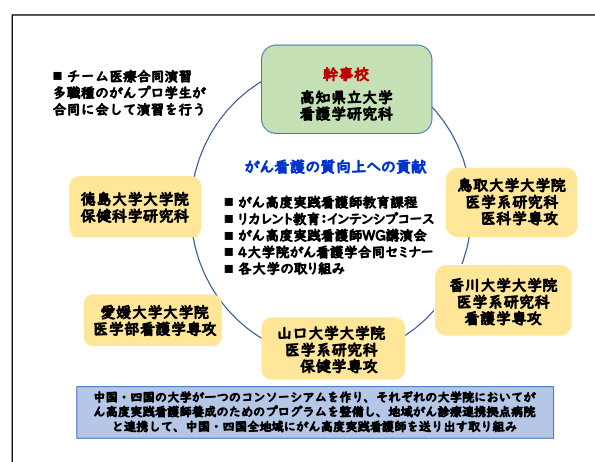


図1 がん高度実践看護師WGの活動

3) 高知県立大学の取り組み

高知県立大学大学院では、「1. がん高度実践看護師の養成」「2. がん医療における質の高いがん看護実践の推進」の2つを活動のテーマとしている。

がん高度実践看護師の養成では、38単位の教育課程のプログラムに加え、がん看護実践を豊かにする取り組みを行っている。がん医療における質の高いがん看護実践の推進活動には、リカレント教育プログラムを開講している。

(1) がん高度実践看護師の実践力を豊かにする取り組み

令和5年度は、がん看護実践看護師教育課程に加え、がん看護実践を豊かにする取り組みとして、以下のような取り組みを行った。

① がん高度実践看護師（APN）セミナー

- ・日時：2023年6月1日（木）、7月6日（木）、7月14日（金）、7月21日（金）、7月26日（水）の5日間
- ・場所：高知県立大学看護学部棟 C322 ＊7月26日はWeb(Zoom)開催
- ・参加者：各回1～5名（がん看護学領域学生5日間合計17名）

高知県内で活躍する修了生のがん看護専門看護師より、高度実践看護師としての役割機能別に、

実践事例、倫理調整、コンサルテーション、コーディネーション、教育の事例など、活動の実際についてご講義いただいた。学生は、先輩の体験を通し、高度な看護実践の在り方や専門看護師の役割機能をどのように発揮していくのか等について具体的に学ぶ機会となり、学生自身が目指す高度実践看護師についての目標や課題を見出すことができていた。

(2) がん医療における質の高いがん看護実践の推進：リカレント教育

① がん高度実践看護師WG講演会 in Kochi

- ・日時：2023 年 12 月 16 日（土）13：00～16：40
- ・場所：高知県立大学池キャンパス Web(Zoom)開催
- ・テーマ：高齢がん患者への包括的な機能評価を活かしたケアの創造
- ・講師／テーマ

長島 文夫先生（杏林大学医学部腫瘍内科学 教授）

「脆弱ながん患者における全身状態評価と治療・支援と今後の課題」

北川 善子先生（独立行政法人国立病院機構九州がんセンター がん看護専門看護師）

「高齢がん患者の包括的な機能評価における看護の役割とケア」

- ・参加者：83 名

がん医療の新たなニーズやアンメットニーズに応えるケアの質向上を推進する看護師養成を第 4 期の全体テーマとし、2023 年度は、「高齢がん患者への包括的な機能評価を活かしたケアの創造」をテーマに、中四国全県、近畿、九州などから 83 名の方々にご参加いただき、Web(Zoom)での講演会を開催した。講師は、杏林大学医学部腫瘍内科学 教授 長島文夫先生と、独立行政法人国立病院機構九州がんセンター がん看護専門看護師 北川善子先生に依頼した。

長島先生の「脆弱ながん患者における全身状態評価と治療・支援と今後の課題」では、高齢者総合機能評価を活用して患者の意思決定支援を支援する重要性についてご講義いただいた。

北川先生の「高齢がん患者の包括的な機能評価における看護の役割とケア」では、高齢がん患者の身体・生活・意欲などを総合的に評価する指標を独自に作成した取り組みの実際についてご紹介いただき、看護師の役割について考えることができた。参加者アンケートでは、講演会の内容について 95.4%が具体的にわかったと回答し、機能評価尺度を活用しながら高齢者の意思決定を支援していきたい、各施設の取り組みを具体的に教えてもらい参考になったという意見があった。参加者にとって最新の知見を得られるだけでなく、自らの看護について振り返り、明日からの看護に向けて考える機会となった。

② リカレント教育プログラム

第 4 期の全体テーマは、がんサバイバーシップを支える専門性の高い看護師養成コースとし、2023 年度はリカレント教育プログラムを開発した。2024 年 5 月より受講生募集開始し、9 月～12 月にプログラムを実施する予定である。

表 1 リカレント教育プログラム

目的 中国四国地方の 9 県でがん医療・看護をリードできる人材の養成

① がん医療の新たなニーズや医療や介護の分野で潜在化した課題、アンメットニーズに対応できる専門性の高い看護職者

② 増加の一途をたどるがんサバイバーの身体的・精神的・社会的ケアや再発予防等のがんサバイバーシップケアを強みとする看護職者

対 象	高度実践看護師コース修了生、専門看護師、認定看護師
方 法	本教育プログラムで定めるコアの科目（1 単位 15 時間）をオンラインと対面で 4 単位 60 時間以上受講
内 容	がんサバイバーシップケアとして再発や二次性発がんの予防、長期合併症や晩期障害の管理、健康増進に向けた生活習慣の改善、特に若年発症がん患者の教育・就労・経済状況の社会的問題への対応等、多職種協働のもと複合的かつ領域横断的な課題に対応できる実践能力を修得することを旨とする がんサバイバーシップ診断治療学（1 単位 15 時間） がんサバイバーシップ看護基盤論（1 単位 15 時間） がんサバイバーシップ看護実践論（1 単位 15 時間） がんサバイバーシップ看護展開論（1 単位 15 時間） ＊がんサバイバーシップケアの課題を 5 年間、毎年設定する
期待される結果	・専門看護師、認定看護師として、がんサバイバーシップケアを推進する看護専門職者として役割を拡大する ・中国四国地方の専門看護師、認定看護師に対して、積極的な広報活動を行い、地域のがん医療・がん看護の質向上、次世代のがん医療・看護を担う

4) おわりに

第 4 期(令和 5 度～令和 10 年度)のがんプロフェッショナル養成プランにおいて、本学は第 1 期より継続してがん高度実践看護師 WG の幹事校として活動を行っている。現在、修了生の 45 名ががん看護専門看護師として全国で活動している。

今後は、今年度の内容を評価し、受験生の確保と、がん高度実践看護師教育課程の継続に取り組んでいく。またリカレント教育においては、トピックスや興味関心の高いテーマの研修を企画し、アンケート調査を分析して、高度実践看護師および地域の看護職の看護実践向上につながるよう研修内容の充実を図っていきたい。